

<簡略版> 実際のものとは異なります

目次 (章題)

まえがき	5
日本語版へのまえがき	9
監訳者まえがき	11
翻訳者一覧	13
目次	14
. 基礎	19
1. 効果的なテスト作成に至る 12 のステップ	20
2. 教育・心理検査法のスタンダード：テスト開発の指針	45
3. テスティングサービスとの契約	57
4. 証拠中心の評価デザイン	79
5. テストの不正行為を最小限にするための問題項目とテストの作成方略	108
6. 受験者のためのテスト準備：テスト開発者と使用者へのガイドライン	133
. 内容	149
7. テスト開発における内容関連妥当性の証拠	150
8. 生徒用学力テストの内容確定	173
9. 資格認定試験内容の決定	199
10. 規準の設定	244
. 問題作成	279
11. コンピュータ化された項目バンキング	280
12. テスト作成における解答選択式問題の形式	309
13. パフォーマンステストの問題作成	326
14. コンピュータ式テストによる革新的な問題形式： 構成概念の代表性改善への探求	350
15. 問題の編集と再検討	370
16. テストによるアセスメントの公平性の審査	380
17. テストの問題作成における言語問題	400
18. アンカー基準法をもとにした項目統計量の判断による推定	424
19. 項目分析	446

. テストのデザイン	469
20. 大規模プログラムのための複数テストフォームの設計と 維持に関する実際問題	470
21. 垂直尺度	494
22. 小規模学力テストシステムのためのテストフォームの作成	513
23. 能力テストのデザイン	555
24. コンピュータ適応型テストのデザイン	573
25. 項目応答理論を用いた合否決定のためのテストデザイン	608
. テストの制作と実施	633
26. テスト制作が妥当性に及ぼす影響	634
27. テストの実施	663
28. 特別な必要性のある学生に対するテスト実施への配慮： 調整，修正，そしてさらなるもの	691
. テスト実施後の活動	713
29. 生徒のテスト得点を報告する際の実際と課題，傾向	714
30. 技術報告および文書化	748
31. テストの評価	762
32. テスト作成における妥当性研究の役割と重要性	777
. エピローグ	795
エピローグ（おわりに）	796
邦語訳のある参考文献	799
付録 本書で取り上げられた諸資料のまとめ	802
一般用語索引	808